

子供たちに伝えたい日本の良さ

今月のテーマ 世界に貢献する日本のODA① ～砂漠にまかれた水～

毎日の飲み水をはじめ、農業や工業生産等、私たちの生活に欠くことのできない水事情を他の国と比較すると、日本は、年平均降水量が1,718 mmあり、世界の年平均降水量約880 mmと比べて、水には恵まれていると言えます。

東京で生活する私たちにとっては、蛇口をひねると水が出てくることは当たり前ですが、地球全体で私たちが飲み水などに使える淡水はわずか0.01%であり、97.5%がそのままでは使うことができない海の水なのです。この海の水から塩分などを取り除き、飲み水や産業用水を作り出すのが「海水淡水化」の技術です。日本は、淡水化の技術で世界をリードしている国の一つです。今回は、日本の淡水化技術の活用や砂漠化の進行に対する取組による国際貢献を紹介いたします。

チュニジア南部地域における 淡水化計画 2010年～2012年

チュニジア南部地域では地下水の塩分濃度が高く、そのままでは飲料水として使えないため、地下水を淡水化にする工場を整備していました。



ジェルバ淡水化プラント

しかし、飲料水の消費量増加や、飲料水を必要とする地域の拡大により、十分に確保することができない状況にありました。さらに、気候変動の影響で降水量の減少やそれに伴う沿岸地域の地下水塩水化の進行が予測され、飲料水の確保がより難しくなることが懸念されていました。

そこで日本のODA（政府開発援助）として、JICAが、逆浸透膜¹方式による地下水脱塩化システムの整備を支援しました。



この協力で建設された淡水化プラント施設棟

この整備により、塩分濃度の低下や、長時間の断水が改善され、地域住民への水供給を安定させることが期待されています。

1. ろ過膜の一種で、水以外の不純物は透過しない性質を持つ膜のこと。

「ODA」「JICA」とは

- ◆ ODA（Official Development Assistance 政府開発援助）
政府・政府関係機関が、開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上のために行う国際協力
- ◆ JICA（Japan International Cooperation Agency）
日本政府が開発途上国支援（ODA）を実施する機関
- ◆ データでみる ODA
 - ・ 190 か国・地域に対し、総額 3,249 億ドル（約 43 兆円）の支援
 - ・ 約 13 万 6 千名の専門家派遣
 - ・ 約 4 万 7 千名のボランティア派遣
 - ・ 約 54 万名の研修事業を実施

（平成27年7月 外務省国際協力局「我が国ODAの軌跡と成果」参考）

砂漠化を食い止めるための 植林植草プロジェクト 2003年～2009年

中国には古来よりゴビ砂漠・タクラマカン砂漠など大規模な砂漠が存在しており、そこから発生する砂じんが、人間や家畜に重大な被害を及ぼすだけでなく、時には「砂嵐」となり人の命を奪うことがありました。

この砂漠はなお拡大を続け、中国の北西部に位置する「甘粛省」だけでも、毎年香川県面積に相当する約1800 km²の土地が砂漠化していました。

そこで中国政府は、砂漠化防止・緑化を目的に、日本のODAを活用し、甘粛省で植林植草プロジェクト（対象面積：約13.6万ha900 km²）を行いました。



砂漠上で実施された草方格

このプロジェクトでは、わらや泥等を砂地の表面に格子状に埋め込む「草方格（そうほうかく）」という砂漠化防止の手法が採用されています。砂丘に網の目のように張りめぐらされた「草方格」は、風によって砂丘が移動することを防ぐ効果があります。

現在、このプロジェクトによって植えられた木々や草地は、拡大する砂漠が民家に押し寄せるのを防ぐとともに、少しずつですが荒涼とした大地を緑に変えつつあります。

国際協力について学べる施設

【JICA 地球ひろば】

世界が直面する様々な課題や、自分たちと開発途上国とのつながりを体感できる施設です。
国際協力を行う団体向けサービスも提供しています。

◆開館時間

- ・交流ゾーン…平日 9時から21時30分まで / 土日・祝日 9時から21時30分まで
- ・体験ゾーン…平日 10時から20時まで / 土日・祝日 10時から18時まで

※休館日等詳細はHPを御覧ください (<http://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>)。

◆入場料

無料

◆所在地、連絡先

〒162-8433

東京都新宿区市谷本村町 10-5 (JICA 市ヶ谷ビル内)

TEL: 03-3269-2911 (総合案内)

◆最寄り駅

「市ヶ谷」駅徒歩 10分



特色ある取組

【豊島区立池袋本町小学校】

学校の伝統「天然藍による藍染め」



(完成した藍染め 3年生のエコバッグ)

日本の伝統・文化と、それらの伝統を守る職人との実感のある学びを創造するため、学校の特色として天然染料の藍染め活動を行っています。

藍を苗から育て、生葉による布染めや学年ごとにオリジナルの作品を作るとともに、全児童が、自分たちで染めたTシャツを着て参加する行事等も行っています。藍の桶を毎日かき混ぜる世話をしながら、その伝統の技と思いを何年にもわたって代々守っています。

上の写真のほかに、1年生が運動会の会場を飾る手形を染めた旗作り、5年生が藍染めのクッション作り、6年生が藍染めのエプロン作り等を行っています。

藍染めの作品は、家庭や学校で活用されており、例えば全校児童が藍染めするTシャツは、移動教室や様々な文化行事・運動会等において、全員がおそろいで着ることで、心を一つに活動を行っています。

また、藍染めの作品を、地域の催事で紹介したり、海外の学校にも「Japan・Blue」としてビデオ等で紹介したりしています。「藍染め活動」が本校の伝統として学校・地域にしっかりと根付いています。

伝統・文化に関するイベント等

★都立中央図書館

○トピック展示「ル・コルビュジエの建築」

【期間】 平成28年6月3日(金)から8月3日(水)まで

【場所】 2階社会・自然科学系資料・閲覧室 入口

【内容】 20世紀最大の建築家として知られる、ル・コルビュジエ。今年7月、国立西洋美術館を含む、ル・コルビュジエの代表的な建築作品群が、世界遺産に登録される可能性が高まっています。そこで、当館所蔵資料より、コルビュジエに関する資料を約50冊集めて御紹介しています。普段は閉架にある本も一挙に御覧いただけるチャンスです。是非お立ち寄りください。



★都立中央図書館

○人文科学情報ミニ展示「山を描く」

【期間】 平成28年7月8日(金)から8月31日(水)まで

【場所】 3階人文科学系資料・閲覧室

【内容】 今年から8月11日が「山の日」として国民の休日になりました。雄大な山々は、古来より画家の心を捉え、多様な手法で表現されてきました。江戸時代から平成まで、様々な山の姿を描いた資料を展示します。

★江戸東京たてもの園

○七夕のつどい

【期間】 平成28年7月2日(土)・3日(日) (開園時間 9時30分から17時30分まで)

【内容】 七夕の笹飾りに願い事を書きましょう。折り紙教室も開催します。

※ 入園料等詳細はホームページを御確認ください。 <http://tatemonoen.jp/>

★町田市民ホール

○プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～ 町田公演

【日時】 平成28年8月9日(火) (開演時間 15時 終演時間 16時10分)

【曲目】 今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ (1964)

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219《トルコ風》

メンデルスゾーン：交響曲第4番 イ長調 op.90《イタリア》

【申込み】 事前申込みが必要です。詳細はホームページを御覧ください。

<https://www.tmsso.or.jp/j/special/premium/detail/index.php>

【テーマにおける引用・参考文献資料、写真提供】

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) ホームページ <http://www.jica.go.jp>

※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【担当】 東京都教育庁指導部指導企画課

電話 03-5320-6869

ファクシミリ 03-5388-1733